

1 単元名 病気の予防

2 単元の目標

- 病気の起こり方や予防について関心を持ち、進んで調べようとし、その結果を日常生活に生かそうとする。(関心・意欲・態度)
- 病気が起こる原因から予防するための条件を考えることができる。(思考・判断)
- 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわりあって起こることが分かり、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解する。(知識・理解)

3 単元について

児童はこれまでにいくつかの病気をし、体験的に病気の症状を知っている。インフルエンザやむし歯などについては、保健指導を受けてきており病気の原因がウイルスや細菌であることを理解し、予防のための方法も知っている。そこでこの単元では、病気の原因と予防について系統立てて考え、望ましい行動が実践できるようことをねらいとしている。

エイズについては、世界で毎年エイズウイルスに感染する者が500万人になりその半数が若者世代であることを重視し、感染のしくみや予防法などの確かな知識を持たせたい。また、感染者に対する偏見や差別についても考えさせたい。

4 児童の実態(平成〇年〇月〇日調べ 男 〇名 女 〇名)

1	エイズという病気を知っていますか。	はい〇人・いいえ〇人
2	エイズはどのようにしてうつるか知っていますか。	はい〇人・いいえ〇人
3	エイズについてどんなことを知っていますか。	わからない〇人・悪い病気〇人・ ちょっとのことでうつらない〇人・血液でうつる〇人・感染症〇人・最後に死ぬ〇人
4	エイズ患者があなたのクラスに転校してくるとしたら、あなたはどうしますか。	優しくする〇人・仲良くする〇人・差別しない〇人・わからない〇人・マスクをつける〇人 話をするときには離れて話す〇人・うつらないようにしてもらおう〇人・病院へいかせる〇人

アンケートの結果から、1学期のエイズについての学習の定着が図れていない児童がみられた。エイズについての正しい理解が得られていないため、アンケートの結果に差別や偏見が見られる。

5 単元の学習予定及び評価規準(おおむね(B)と判断できる子どもの姿の具体例)

	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 知識・理解
単元の評価規準	病気の起こり方と予防の方法について関心を持ち、進んで課題について調べようとしたり、意欲的に課題に取り組んだりしようとしている。	病気の起こり方と予防の方法について、課題を設定し、解決の方法を考えたり、判断したりしている。	病気の起こり方と予防の方法について、実践的に理解し、自分の生活に役立つ知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	① 病気の起こり方や予防の方法について、自分の身近な人の経験した病気の例などを元に課題について調べようとしている。 ② 病気の起こり方や予防の方法について、人に聞いたり、教科書などの資料を元にしたりして調べようとしている。 ③ 病気の起こり方や予防の方法について、調べたことや考えたことを発表したり、友だちの意見を聞いたりしようとしている。	① 病気の起こり方や予防の方法について、自分の経験や友達、家族などの身近な人々の生活などを振り返り、問題点を見つけようとしている。 ② 病気の起こり方や予防の方法について、人に聞いたり、資料を元に予想したり、関係を見つけたりしている。 ③ 病気の起こり方や予防の方法について学習したことを、自分の生活に当てはめようとしている。	① 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわり合って起こることを書き出している。 ② 病原体が主な主因となって起こる病気とその予防の仕方について知っている。 ③ 生活習慣病が主な原因となって起こる病気や、その予防の仕方、喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響について書き出している。

6 指導と評価の計画（8時間扱いの本時は第3・4時）

時間	ねらい・学習活動	単元の評価規 準との関連	評価方法
1 ・ 2	○ ねらい ・ 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がか かわって起こることを理解する。 ・ 病原体がもとになって起こる病気の予防には、病原 体を体に入れないことや体の抵抗力を高めることが 必要であることを理解し実践できる。 1 自分が経験した病気を思い出して発表し話し合う。 2 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がか かわって起こることなど、その原因について調べる。 3 病原体がもとになって起こる病気について、インフル エンザや結核、食中毒などを取り上げ、予防法について 調べる。	アー① アー② ウー①	話し合いの観察 行動観察 学習カード
3 ・ 4	○ ねらい ・ エイズについて、その現状・感染の仕方・症状・予 防法を理解する。 ・ エイズについての知識をまとめるとともに病気に対 する正しい理解によりH I V感染者に対する偏見や 差別をなくせることが分かる。 1 エイズについて調べ、分かったことを発表する。 2 H I V感染者に対する偏見や差別について考える。	アー① ウー①	発表の様子 学習カード 発表の様子
5 ・ 6	○ ねらい ・ 生活習慣病は、かたよった食生活、運動不足等が原 因で起こり、食事、運動、休養・睡眠などの生活の 仕方と関係していることを理解する。 ・ むし歯や歯周病の予防のためには、食生活、歯みが きなどの生活の仕方が重要であることを理解する。 1 生活調べから、自分の生活について振り返り、課題を 見つける。 2 むし歯や歯周病も生活習慣によって起こる病気である ことから、おやつを選び方、歯みがきの仕方を考える。	アー① ウー①	発表の様子 学習カード
7 ・ 8	○ ねらい ・ 喫煙や飲酒が、さまざまな生活習慣病の原因になる ことを理解するとともに、喫煙を勧められたときの 自分なりの断り方を考えることができるようにす る。 ・ 薬物乱用の害について理解し、依存性について認識 を深め、健康に良い生活行動が実践できる。 1 身近な喫煙者にインタビューし、たばこを吸い始めた きっかけや喫煙者の気持ちを調べる。 2 たばこを勧められた時のことわりかたのロールプレ イニングをする。 3 薬物乱用の害について調べ、わかったことを発表する。	アー① イー②	発表の様子 話し合いの様子

7 本時の指導

(1) 目標

- エイズについて復習するとともに、エイズに感染した人に対する偏見や差別があることを知り、その人たちの悩みや苦しみについて考える。
- 偏見や差別をなくして共に生きようとする態度を育てる。

(2) 準備・資料

- ① アンケート結果 ② 「エイズについてのプレゼンテーション」 ③ プロジェクター
④ パソコン ⑤ ビデオ「ジョナサン君といっしょに」 ⑥ ワークシート

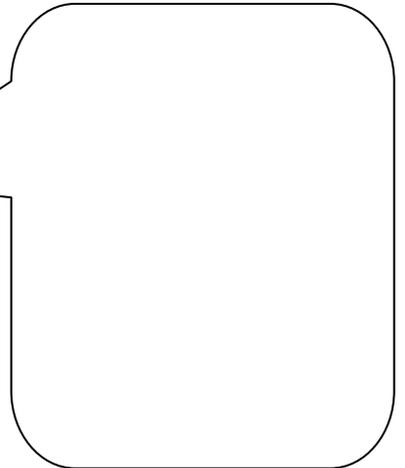
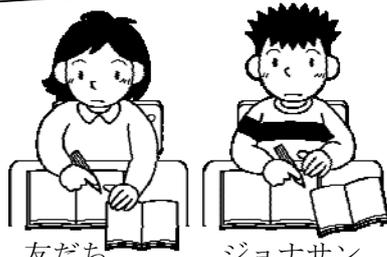
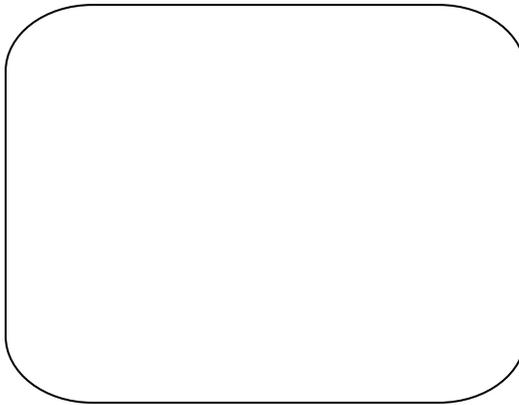
(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		資料
	T 1	T 2	
<p>1 アンケート結果を見る。</p> <p>2 前時の復習をする。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">エイズ患者との共生について考えよう。</div> <p>3 エイズについてのビデオを見て、話し合う。</p> <p>(1) ビデオを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョナサンやジョナサンの母・周りの人たちの気持ちを考える。 <p>(2) ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオを見た感想や登場人物のそれぞれの気持ちについて考え、ワークシートに記入する。 <p>(3) 話し合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4～5人のグループになり、ワークシートを基にグループで話し合いを行う。 <p>4 意見を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループで話し合った意見や感想を発表し合う。 <p>5 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに本時の学習で感じたことや、これからの生活で生かしたいことなどをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を提示する。 エイズについての理解が図れていない児童には、個別指導を行う。 課題を提示し、エイズについての現状についてふれ、共生についての質問をなげかけ、次のビデオに興味を抱かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> エイズのプレゼンテーションを行い、エイズの復習を行う。 エイズについて考える雰囲気を作るよう支援する。 	アンケート結果
	<ul style="list-style-type: none"> 静かにビデオの視聴が出来るように個別に支援する。 気づきのない児童には、ビデオを想起させどんなことでもいいので記入できるように支援する。 		ビデオ ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、書けずにいる児童に、助言を行う。 話し合いの前に参考資料としてアンケート結果を提示し、いろいろな考えの人がいることを理解させる。 		アンケート結果
	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの話し合いで、意見が活発にされるように、グループ作りを配慮する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(評) エイズやエイズに感染した人の様子を知り、グループでの話し合いに積極的に参加しているか。 (発表・観察)</div>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いが活発でないグループには、ワークシートを参考にしながら発表するように助言を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな意見を受容的な態度で聞く。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考えて行動することの大切さについて友達の見解を思い出させるなどして気づかせる。 偏見や差別をなくすことの大切さを本時の学習を振り返りながら気づかせる。 机間指導を行い、ワークシートに記入できていない児童には感想を聞きながら共感してあげ、自信を持って書けるよう支援を行う。 		ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(評) エイズに関心を持ち、自他を尊重し、差別や偏見をなくすことの大切さに気づいたか。 (ワークシート)</div>		

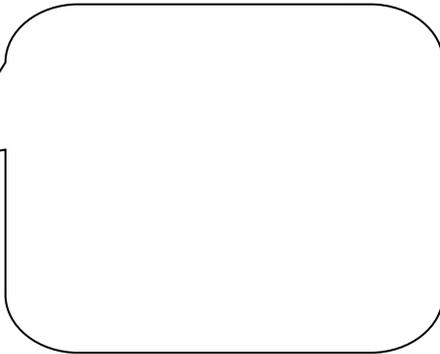
6年 組 番 氏名

☆ビデオを見て、どう思いましたか。感想を書きましょう。

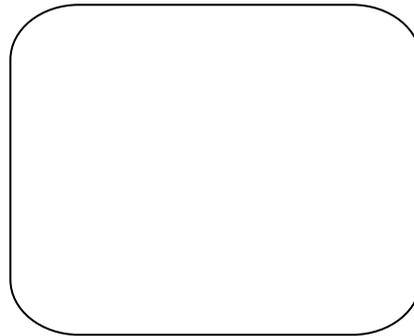
☆ジョナサン君やジョナサン君のお母さん、クラスの友達、周りの人たちになったつもりで、気持ちを考えて見ましょう。



周りの人たち



ジョナサンの母



☆エイズ患者と共に生きていける社会をつくるために何が必要でしょう。

☆今日、感じたことやこれから生活に生かしたいことを書きましょう。